

(学校名) シラチャ日本人学校**学校・周辺環境****【学校について】**

児童生徒数: 小学部386名、中学部70名 全校児童生徒数456名
 全教職員数: 58名
 4月始まりの3学期制です。

・シラチャはバンコクから車で約1時間半の場所にある豊かな自然に囲まれた地方都市。輸出港が近いこと、日系製造業の工場進出が相次ぎ、2009年に日本人学校が設置されました。施設は、新しく綺麗で、広々としており、周囲に山や畑もあり、伸び伸びとした環境で約450名の小中学生が学んでいます。個性を重視したきめ細かい教育を実践しています。

**【授業の様子】**

授業は日本の学習指導要領に沿った形で行われています。授業以外でもクラブ活動や運動会、修学旅行などの行事も盛んに行っています。暑い国という事で全教室にエアコンが完備され、ICTを活用した授業も行われています。

現地語と英会話はネイティブによる授業を小学部1年生から週に1～2時間行っています。中学部の部活動はありません。校内での授業研修等を通して研修できる環境が整っています。

**【主な行事】**

1学期: 入学式、一斉下校訓練、小6修学旅行(チェンマイ)、校外学習
 (小1カオキアオ動物園、小2ノンヌット公園、小4消防署、中3ベンジャロン焼)
 小学部、中学部現地校との交流、水泳記録会

2学期: 避難訓練、シラチャ祭、個別面談、運動会

3学期: 中2修学旅行(シンガポール)、小5臨海学校(ジャンタブリ)、
 6年生を送る会、卒業式

* 1年中泳げるプールを利用して水泳指導が行われます。

**【現地理解教育・国際交流】**

7月: 小学部: プラバ大学付属小学校との交流、
 中学部: スカボット校との交流

6月 小6: チェンマイ修学旅行でのワットシーロム校との交流

2月 中2: シンガポール修学旅行での大学生との英会話による市内見学

【校外学習】

小1: カオキアオ動物園、スカパー婦公園、小2: ノンヌット公園、カオシーチャン

小3: ロッテ工場、マックスバリュ一見学、小4: 消防署、浄水場見学

小5: 三菱自動車工場見学、田植え体験、小6: マングローブ植林体験

中1: レムチャバン港見学、中2: 職業体験、中3: 保育実習、ベンジャロン焼

* 写真はカオキアオ動物園での一コマです。

生活環境**【住居】**

住居は外国人向けのマンションです。出入口には警備員が常駐し、居住者の安全が確保されています。1LDK、家具付きで大型家電等も設置されているため、最低限の身の回りのものがあれば生活できます

**【周辺の病院】**

内科・外科・小児科・眼科・産婦人科・歯科・皮膚科等の揃った大きな総合病院があります。日本へ留学された医師や看護師も多く、日本語が通じる医療機関もいくつかありますし、日本人の職員もいらっしゃいます。近くにあるサミティベート病院も24時間利用でき、日本人スタッフや日本語通訳もいます。

【周辺の飲食店やスーパー】

おでん屋さん、もつ鍋屋さん、お好み焼き屋さん、つけ麺屋さんなど、シラチャの町にはいろいろな日本食を出してくれるお店があります。また、ここ数年日本国内にもあるチェーン店がタイに進出しており、シラチャやその周辺で食べることができます。

日系スーパーやもちろんタイならではのタラート(市場)でも食材を購入することができます。野菜は見慣れたものもありますが、多くは日本では見たことがないものなので、調理の方法には少し頭を悩ますかもしれません。また、タイでは自宅で料理するよりも屋台でお総菜などを購入する家庭が多いため、屋台ではいろいろおいしいようなものが数多く売られています。



【物価】

現在(6/1)、1パーツ3.4円です。日本食は現地のタイ料理のお店(100～200パーツ程度)や屋台(約60パーツ)に比べるとやはり4倍ほど(300～500パーツ程度)の割高です。

【休日】

ショッピング、食事、スポーツ(ダイビング、ゴルフ等)、マッサージやエステ等、タイのゆったりとした時間の中で充実した休日を楽しむことができます。

【現地独自の文化】

仏教国ですので、街のいたるところにお寺があり、早朝には托鉢僧に出会えます。田舎に行けば一面の田園風景の中で「本物のタイ」が満喫できます。

応募者へのメッセージ

校長より

・タイは非常に親日国で、在留邦人の数も多く、日本食レストランも多い。日本人の海外駐在場所として、最も暮らしやすい国のひとつ。自動車業界を中心とする日系企業も多数進出しており、町の中には日本車があふれている。治安も安定しており、町の中も自由に歩けるため、一人暮らしも大きな問題はありせん。

・ベテラン教員による充実した指導研修が組まれており、タイで継続勤務する場合でも、日本に戻って教員採用試験を受ける場合でも、安心して将来設計を描くことができます。

学校採用教員より

シラチャ日本人学校では、新卒の教師の方も多くいるので、みんなで切磋琢磨し合っていくことができます。また、分からないことや難しいことがあったときには、育成担当の先生方をはじめ、経験のある先生方が手厚くフォローして下さいます。全国各地から、先生たちが集まっているので、さまざまな視点から意見を頂くことで、自分のより深い学びに繋がります。応募を考えている方に、日本人学校で働くという選択肢を自信を持ってすすめることができます。是非、一緒に日本人学校の教員としてともに働きましょう。

日本での教職経験がなく、海外の日本人学校が初めての勤務になることについては、最初こそ不安に思うこともありましたが、けれども、育成担当でついでくださる先生だけでなく、多くの先生方から、授業作り、学級経営、子どもや保護者とのかわり方など、教師として必要なことについて、日々多くのことを学ばせていただいています。また、進路指導、危機管理、人権教育など、研修の内容も充実しているので、国内と同じように学ぶことができると思います。日々学び、働き、忙しい仕事ではありますが、とても充実した日々を送ることができています。海外で数年暮らすというのも、これから先そう何度もある機会ではないので、ぜひ体験してほしいです。